

魅力あふれる学校づくりを目指して

原点に立ち返ることで生まれたふじおかメソッド

連載 53

学校法人しずわでら学園

認定こども園ふじおか幼稚園 園長 市村 弘貴

学校法人しずわでら学園は、昭和30年に、寺小屋から始まった幼稚園です。

当時、東光寺（栃木県栃木市岩舟町）の住職、市村隆弘が、「われわれが、世のため、人のため、何かお役に立てることはないだろうか」と考え、これからの社会を担う子どもたちのために、始まったのがきっかけです。

この精神を、時代を超えても大切に引き継ぐことで、地域、保護者から信頼をいただいております。

「明るく元気な子どもに」、「思いや



昭和30年代の東光寺本堂前

りのある子どもに」、「人に好かれる子に」。いつの時代も、子どもを思う大人たちの思いは尽きません。

そして大切なお子さまをお預かりし、成長をお手伝いさせていただくなかで、「私たちは何を上げてあげることが最も大切なのか」と考え、寺子屋の精神を引き継ぎつつ、常に試行錯誤を繰り返してきました。

一方、ITやAI技術が進化し、子どもたちを取り巻く環境は日々大きく変化しています。

そんな社会を生き抜いていく子どもたちには、どんな逆境にも自らの「チカラ」で立ち向かい解決する力が必要であるとされています。

子どもたちが、どんな高い壁にぶつかっても自力で乗り越えていける力を育ててあげたいと考え、楽しい幼稚園生活のなか、「立ち上がるチカラ」を育ててあげたいと強く願うようになり、そして、たどり着いたのが独自の教育法「ふじおかメソッド」です。

ふじおかメソッドは、「やり抜く力」、「やる気」、「自制心」、「協調性」、「社交性」の五つの柱を通じて、認知能力と非認知能力をバランスよく身に付け

るプログラムです。

プログラムと聞くと真新しさを感じる方もいるかもしれませんが、私たちが寺子屋時代から引き継いできた教育を、保護者だけでなく、教職員にとってもより分かりやすく伝えるために工夫し、さらに体系化したものです。

なぜ、当たり前のことをあえて新たな形で蘇らせたのか。それは、昔ながらの教育を受けていない教職員も、この教育法を共有し、理解してもらうことで、子どもたちへの「教育の質」が大きく変わると感じたからです。

実際に教職員たちは、今、何をすべきかよく突き詰めており、知識やスキルだけではなく、子どもたちが自ら考え、行動することができるよう「立ち上がるチカラ」が、驚くほど育つ環境を作ってくれています。

これは、みんなが想いを共有し、どうしたら子どもにとってよりよい環境を作ることができるのかを考える「ふじおかメソッド」による効果だと、実感しています。

「二代目、三代目の後継者は、新しいことに取り組む」という話を聞いたことがあります。

それ自体はとても素晴らしいことだと思います。私自身も、新しいことに取り組む際には、意識せずに、長年受け継がれてきた大切な精神に背いた方法で行いそうになってしまうことが何度かありました。

そんなときは、あえて時間を取り、教職員同士で話し合ったり、考える時間を作るなど、立ち返るということを何度も行ってきました。

恥ずかしいことに、実際に今までの学園の歴史について深く考えるようになったのはつい最近の話です。

ふじおか幼稚園の園舎が、2018年9月から新しくなり、園舎のコンセプトや、方針を深く考え直す機会があったからです。

子どもの可能性は無限大です。この可能性を象徴とし、園舎の大きなコンセプトとしました。園舎を上から見下ろすと、無限(∞)の字が見えてきます。



園舎の上空写真